

平成17年度 事務事業評価表						
記入年月日	平成17年4月26日		記入者		内線	754-2577
部 名	生涯学習部	課 名	総合学習センター	課長名	小川紳夫	
事務事業名	イントラネット活用事業					
予算上の事務事業名	イントラネット活用事業					
1 総合計画における位置づけ			施策コード	14120		
基本目標	「学びあいあたたかさのある福祉文化都市」をめざして					
政 策 名	第4章 人間性豊かな子どもを育成します					
基本施策名	第1節 ゆとりある学校教育の創造				事業開始年度	
施 策 名	第2施策 小・中学校教育の充実				平成14年度	▼
2 実施根拠及び関連法令・条例等	学校間ネットワークの管理及び運用式冠する要綱					
3 個別計画の概要	概要					
計画名	なし					
計画年次		年度～		年度		
4 事業形態の区分	内部管理 ▼					
5 事業概要	<p>(1) 事業の目的(何のために行うのかまたはもたらしたい成果)</p> <p>学校間イントラネットは、インターネットを活用した授業の展開を促進し、市内の学校間や学校と市内教育機関との交流学习の実現する新しいスタイルの授業形態を実現するシステムである。また、本センター設置サーバを活用することによって、児童生徒、保護者に向け学校教育に関する情報の提供や情報公開を行うことを目的としている。さらに、これからの高度情報通信社会に生きる児童生徒に必要な資質(情報活用能力)を育成することをねらいとしている。</p> <p>(2) 対象(誰、何)</p> <p>市立小中学校教職員、児童生徒</p> <p>(3) 平成16年度事業の内容(活動)・・・いつ、どのような方法で実施した内容(活動)なのか。</p> <p>セキュリティに保護された快適なインターネット環境下で、市内小中学校においては、インターネット活用授業の実施、TV会議システムを利用した学習の検討、学習用データベースの活用、電子掲示板による学校間交流活動が行われた。また、本センターに設置されたホームページサーバを利用し、市内小中学校や総合学習センターのホームページを媒体とした各種情報提供と情報公開が行われた。さらに、本センターでは、市内小中学校のインターネットを利用した学習を支援する学習リンク集「さがみはらスタディメイト」の作成・更新や教師の指導を支援するホームページ「Teachers Room」による教育情報を提供している。</p>					
6 関連・類似事業や他市の状況	インターネット接続環境と同時に学校間イントラネット環境を持っている県内市町村としては、横須賀市と大和市がある。横須賀市の学校間の通信回線は、100Mの通信速度を保持しているため、TV会議や動画配信がスムーズに行われている。教育素材として動画コンテンツの配信が重視される傾向や市内各校の端末数の増加に対応する2つの点から、今後通信回線の高速化・サーバーの増強が望まれる。					
7 事業費の推移	[単位：千円]					
年 度	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算見込)	平成17年度(予算)	平成18年度(見込)	
事業費	108,178	37,174	36,632	37,460	37,460	
一般財源	108,178	37,174	36,632	37,460	37,460	
受益者負担金	0	0	0	0	0	
その他の特定財源	0	0	0	0	0	
人件費の合計	25,170	24,030	24,210	24,210	24,210	
事業コスト合計(a)	133,348	61,204	60,842	61,670	61,670	
8 事業効率・・・(複数の事業で構成されている場合は、その中の主たる事業)						
主たる事業名	イントラネット活用事業			対象名称(単位)	児童・生徒・教員数の概数(人)	
年 度	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算見込)	平成17年度(予算)	平成18年度(見込)	
事業コスト(主たる事業)	13,348	61,204	60,842	61,670	61,670	
対象数	52,500	52,500	52,500	52,500	52,500	
単位あたり経費(円)	254	1,166	1,159	1,175	1,175	
前年度比		4.59	0.99	1.01	1.00	

9 活動指標・・・実施した内容（活動）の数値化						
指標名 (単位)	講習会参加者数		指標式と指標の説明	研修会（センター、学校など）参加者数+移動コンピュータ研修参加者数により、システムの活用の促進を図る。		
	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度（目標）	
実績	1,065.0	1,026.0	1,376.0			
目標	1,000.0	1,000.0	1,200.0	1,300.0	1,300.0	
目標達成度	1.07	1.03	1.15			
10 成果指標・・・対象と意図の達成度を表す指標						
指標名 (単位)	ホームページアクセス件数		指標式と指標の説明	総合学習センターHP+さがみはらスタディメイト（Teachers Room）+子ども情報カレンダー学校間のネットワーク内に設置されたWWWサーバへのアクセス数の総計から、利用者数を明らかにし、目標の達成度を判定する。（単位：万件・年）		
	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度（目標）	
実績	239.0	358.0	371.0			
目標	250.0	350.0	350.0	370.0	400.0	
目標達成度	95.6	102.3	106.0			
11 個別評価						
(1) 妥当性の評価 【A：妥当である・B：妥当性に課題がある・C：妥当でない】						
A	<input type="checkbox"/>	法令等により実施することが義務付けられている。				
	<input type="checkbox"/>	法令等に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。				
	<input checked="" type="checkbox"/>	公益性が高い、または必需性が高い事業である。				
	<input checked="" type="checkbox"/>	将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。				
	<input checked="" type="checkbox"/>	税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。				
(2) 有効性の評価 【A：有効である・B：有効性を高める余地がある・C：有効でない】						
A	<input checked="" type="checkbox"/>	上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。				
	<input type="checkbox"/>	課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。				
	<input checked="" type="checkbox"/>	成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。				
	<input checked="" type="checkbox"/>	事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を楽しんでいる。				
(3) 効率性の評価 【効率が良い・B：効率性を高める余地がある・C：効率が悪い】						
B	<input type="checkbox"/>	単位あたりの経費は適正である。				
	<input checked="" type="checkbox"/>	これ以上コスト節減の余地がない。				
	<input checked="" type="checkbox"/>	受益者負担や補助等の割合に問題はない。				
	<input type="checkbox"/>	事業の実施方法や実施体制は適正である。				
(4) 民間活力の導入の可能性 【有・無】						
無	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方が経費の節減に繋がる。				
	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方が技術・知識面で優れている。				
	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方がサービス面で優れている。				
	<input checked="" type="checkbox"/>	民間では実施していない、または市が実施する方が優れている。				
12 総合評価						
(1) 自動判定結果						
	〔 〕：良好な状態を維持する事業					
	〔 〕：概ね良好な状況である事業					
	〔 〕：見直しを行う必要がある事業					
	〔 〕：抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業					
(2) 担当課の課長による評価（今後の方向性）			(3) 課長の評価に関する説明			
拡充・充実	<input checked="" type="checkbox"/>	拡充・充実				
	<input type="checkbox"/>	現状維持				
	<input type="checkbox"/>	見直し				
	<input type="checkbox"/>	廃止				
13 成果の向上及び効率性を高めるための方策 利用環境の変化に即したサーバーのコンテンツや利用環境の充実・改善。 学校ホームページの内容の利便性をさらに高めるための支援や研修の充実。			14 課題として認識されたこと センターサーバ等の機器やインターネット回線の更新・増強の具体化。指導課と連携した普通教室への校内LANの整備。 津久井2町との合併に伴う指導課との将来構想の確認調整、及び予算面、スケジュール面での調整が必要。また、津久井の小中学校の校内の機器環境の把握と調整に関わる2町との連携。			
15 二次評価						
(1) 行政評価会議による評価（今後の方向性）			(2) 二次評価コメント			
拡充・充実	<input checked="" type="checkbox"/>	拡充・充実				
	<input type="checkbox"/>	現状維持				
	<input type="checkbox"/>	見直し				
	<input type="checkbox"/>	廃止				